

家庭ごみ組成分析調査の実施について

1 目的

区内の家庭から排出された燃やすごみについて、ごみの量や性状等の調査を行い、プラスチックの排出状況や、食品ロスの状況等を把握するとともに、得られた調査結果を整理及び分析をし、一般廃棄物処理基本計画の改定に活用します。

(1) 製品プラスチック一括回収の基礎データ収集

令和 11 年度以降に予定されている製品プラスチックの一括回収に向け、詳細な推計値を算出するための根拠データとして活用します。令和 6 年度の調査手法では、製品プラスチックは単一区分であったが、「汚れなし」、「汚れあり」、金属等との「複合品」のように「リサイクルできないプラスチック」と「リサイクルできるプラスチック」を分けることで、一括回収を行った場合のリサイクル可能な量をより正確に把握し、推計の精度向上を図ります。

(2) リサイクル可能なプラスチック製容器包装の割合の把握

令和 6 年度の調査では、燃やすごみにおけるプラスチック製容器包装の汚れの有無について、汚れの分類基準が厳格であったため、汚れの判定基準を資源ではなく、ごみとして排出されている実態に即して見直し、リサイクル可能なものは「汚れなし（リサイクル可能）」、リサイクル不可なものは「汚れあり（リサイクル不可）」と分類することで、ごみとして捨てられているリサイクル可能なプラスチック製容器包装の量をより正確に把握し、推計の精度向上を図ります。

(3) 食品ロス削減施策の視覚化と啓発

食品ロスのうち、直接廃棄については、分類・整列して写真撮影を行い、排出状況をビジュアル化することで、子供向け学習資料や普及啓発アイテムの素材として、区民の意識変容を促す具体的なツールとして活用します。

2 調査概要

令和 6 年度の「中央区ごみ排出実態調査」で対象となった集積所から無作為にサンプルを収集し、組成分析調査を行います。

(1) 調査期間

令和 8 年 6 月 22 日（月）～27 日（土）

(2) 調査対象

家庭から排出される燃やすごみ 1,200kg 程度

(3) 組成分析品目

50 品目程度